

普段、新剣連事務局側から講習会に立ち会っていましたが、秋の東京審査に挑戦することを決意し事務局から離れて、受審者講習生として参加させていただきました。

この度、愛知県名古屋会場にて木村嘉靖先生が80歳と5か月で見事に合格され、新潟県剣道連盟としても大変喜ばしいことでありました、また全国的にも80歳代で八段に合格された先生は木村先生が三番目の合格者ということです、本当におめでとうございます。

木村先生の講話や山田先生の講話を拝聴し、改めて剣道に向き合う姿勢に気付かされた有意義な一日となりました。

我々高齢剣士の目標となる先生が身近にいらっしゃることが何よりも励みになります。

剣道講話 木村嘉靖先生

○今年の8月9日愛知県名古屋会場で合格

○52歳で6段合格、58歳で7段合格、68歳から8段に挑戦する。

○剣道歴は高校(新潟商業)からで大変遅いのですが、それというのも子供のころは体が小さく体力もなかったため、剣道をやっていた父親から「お前には無理だ」と言われ、剣道を習うことが出来なかったとのこと。

○当時、少年自衛官(自衛隊)も挑戦したが体力的に厳しく、断念した悔しい思い出がある。

○新潟県警察機動隊剣道特錬生を拝命、残念ながらケガをして3年で特錬解除となった。

68歳から8段修行の挑戦に12年を要し、その間一次審査12回通過したがうまくいかなかった。

○日々修行の一つに大好きな範士の先生の動画を何度も何度も繰り返し観て研究していた。日々合格を目標に、数多く参加した講習会等の資料を何度も見直し、特に高崎範士・岩立範士・藤原範士の動画は何回も見直した。

○この8月の審査が最後だと言う気持ちで臨んだ。

今まで失敗したことを出さないために、名古屋会場には、普段のまま家族も連れて行った。

審査に当たっては、まず①立ち姿を見てもらう、自分の方を見てもらえるようにする。②

腹から声出す(発生は大事) ③剣先は相手の右手に乗る気持ちで立ち合った。

普段の稽古が大事、欠点は極力なくす努力が必要。

剣道講話 山田義雄先生

○木村先生は見えない所で努力をされている。

○素直になる、理屈ではない、覚悟を決める。

○立合いの礼から見てもらう。触刃からの攻め・交刃迄の攻め・審査員に攻めを表現できるか。

○普段の稽古で、元立ち稽古になってはダメ、指導稽古でなくてはダメです。

打突の質が大事。自分の稽古に自信を持つ、相手をつかうことは大事です。